



NEWSLETTER

第28号 2000年4月1日 発行

歯科保健医療国際協力協議会

事務局：390-0804 長野県松本市横田3-10-14 TEL&FAX：0263-39-1583

発行：村居正雄 編集：田中健一・間島孝子 現会員数：245名

Japan Association of International Cooperation for Oral Health

未来志向のJAICOHのために①

田中健一

昨年、JAICOHの行う東北ブラジル公衆衛生プロジェクトに口腔衛生の専門家として参画しました。

私が赴任した東北ブラジルは、ブラジルの中でも最も貧しい地区の一つであり、そこは乳児死亡率が一〇〇人あたり七三人と日本の四・三人(一九九五年)という数値からみると、比較にならない程高い地域でした。このような状態の中、私は公衆衛生の立場から、大学歯学部地域医療のサポートに当たりました。任務の一つに「歯学部教官・学生に歯科の地域貢献の重要性を認識してもらおう」という事もありました。

帰国して、こうして再びJAICOH活動に関わっておりますが、ブラジルでの経験を基にどのようなことが私に可能か、と考えました。以下はここ三ヶ月の私なりの答えです。
小児障害者病院での歯科活動

小児の障害者病院の歯科検診に参加しました。私の同級生の依頼だったので、そこは今まで経験したことのない世界でした。

子供は脳性マヒ、精神発達遅滞、ダウン症とそれぞれでしたが(一〇

〇人を超すその多さにも圧倒されました)、フルケアが大変なのは言うまでもなく、その障害の程度もブロードに富んでいるのです。当然自立活動なんてできません。一口に障害といいますが、とてもそんな言葉では言い表せないものです。こういう問題に歯科はどのように関わればいいのか？

さらに親にもいろいろな人、ケースがあり、必死で面倒をみる人もいれば、施設に預けっぱなしという親もおります。人によって抱えている事情は様々で、もし私がその当事者になったらどうすることができか？と、悩みました。

どれだけ治療しても良くなる見込みがないと思えるほどの重篤な患者たち、その中で歯科のできることは限りがあります。多忙を極める看護婦さんに「歯磨きだけはきちんとしてください」ということをお願いすることすら難しい状態なのです。これはどうしたら…と思いました。

成すべきことがたくさんあつて、優先順位の高位に歯科を持つてくるのが難しいのも解るのです。でも

JAICOH NEWS LETTERは下記の各社のご協力を得て作成されております

11か国語対訳 歯科診療会話集

田中 信田けい子

1ページ1会話文とし、約370の会話を収録し「英語」「インドネシア語」「中国語」「ポルトガル語」「タイ語」「ドイツ語」「アラビア語」「スペイン語」「ベトナム語」「ミャンマー語」「シンハラ語」の訳をつけました。

●A5判414P ●定価：本体3,000円＋税 ●送料340円

財団法人 口腔保健協会
TEL：03-3947-8301 FAX：03-3947-8073

「毎日、毎日……」
「繰り返し、繰り返し」

使いたくなる
ホームケア歯ブラシ

(ホームケア)歯ブラシ 0120-118418
株式会社 永山 FAX 0120-648581

「GC」

はじめての
コンポジット直接充填!
はじめての1液性セルフ
エッチングプライマー!

ユニファイル ■ 早期的なフッ素の徐放。
■ ピタシェード9色+A03:CV.

ユニファイルポンド

■ 湿和不要、簡便2ステップ。
■ 接着性モノマー「4-MET」による優れた接着性。

株式会社 ジーシー
DICフリーダイヤル 0120-416480

現場に立つと、せめて口腔内だけでも、清潔で、健康な状態になって欲しいと切実に思うのです。

障害者歯科において、こういったPriority（優先順位）の議論はなされているのでしょうか？ 答えは得られているのでしょうか？ 治療が優先となつて、ケアの面、それから他科への環境整備といった面は遅れているのではないのでしょうか。

私がそうそう経験ができない場面に会えるのも、海外ならではないかもしれませんが、海外では歯科だけの問題ではないことが多いからです。問題の本質がどこにあるのかを見極める姿勢が重要ですから。

こんなような経験を基に四月には大学の教養部の学生さんに「国際歯科保健」について講釈をすることになりました。今とかく言われる歯科界ですが、なければならぬ世界です。今回は児童福祉施設での健康診断の模様をお伝えいたします。

質問・ご意見は左記までどうぞ！

BXU0436@nifty.ne.jp 田中健一
PS こんな事を書き終えたその時に歯科医師国家試験問題の漏洩の報道が入りました。真面目な医療をされる先生がほとんど中、このような事件が起る度に愕然とさせられます。

カンボジア デンタルナース支援事業報告 Part 1 柴田享子

◇はじめに

J A I C O H は、一九九二年よりカンボジア口腔保健支援事業を行っています。今回は一九九八年十月より皆様にご協力頂いているデンタルナーススカラシップ（奨励金）事業を中心にデンタルナース（以下DN）支援事業について近況を報告します。

◇カンボジアにおけるDNとは

全人口の八〇パーセントが地方農村地域に移住し、ここでは歯科医師不足のため歯科医療を十分に受けることができません。そのような地域で歯科医師の代わりに単純拔牙、除石、う蝕単純処置（ART等）、保健教育等の基本的な歯科医療サービスを行う職種です。

一九九二年より米国NGOである「ワールドコンサーン」（現在ICC）

とカンボジア保健省の運営のもとその養成ははじまりました。第二次ナショナルオーラルヘルスプラン（一九九六年～二〇〇五年）では、二〇〇五年までに全国一〇〇〇箇所のヘルスセンターに各一名のDN配置を目標にしていますが、不安定な社会状況と年々削減される養成学校の運営資金により、養成はされてはいるものの現在その数は二一六名にとどまっています。

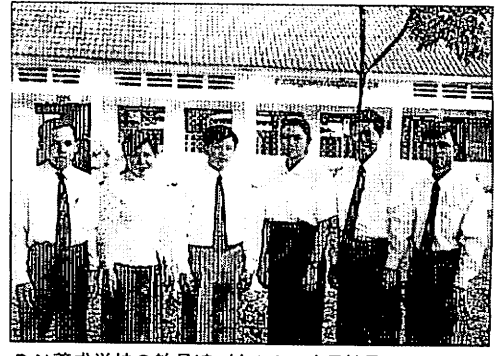
今年四月下旬に卒業式を迎えるDNの卵・二十二名が現在トレーニングを受けています。

◇デンタルナーススカラシップ

本スカラシップは、デンタルナース養成学校の指導者に対し専門性と教育およびマネージメントの質の向



Ms.Leangに第1回スカラシップが授与される



DN養成学校の教員達（左から2人目校長Dr.Nehp）

上を目指した研修への参加支援を行うために設立されました。

そのきっかけとなったのがインストラクター・Leangさん（二十四歳・DN）のタイ国立口腔保健センター（ICOH）での「地域口腔保健における適正技術研修（一九九八年十一月五日、十二日）」参加でした。第一回目の給付はその際の参加費として四五〇ドルが彼女に送られ、研修を受ける機会を得ました。（本研修報告については一九九九年J A I C O H 総会研修会で行いました）

第二回目の予定として、インストラクター・Sochetさん（OSD・準歯科医師）を地域保健従事者対象「国際リーダーシップコース研

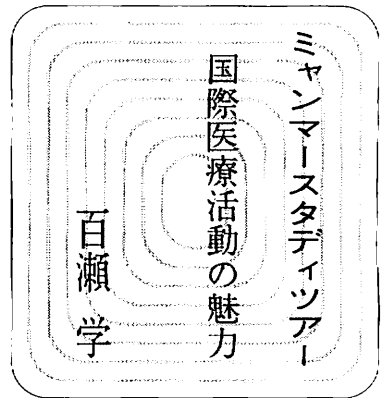
修（九月五日、十月九日・於：愛知県・アジア保健研修所（AHI））参加のための給付を計画中です。

来日が実現しましたら、その間に日本の歯科事情の視察や皆さんとの交流会そしてカンボジアDNNについて話をしてもらおう機会を設ける予定です。ぜひ、彼の研修参加の実現に向けて皆様の募金へのご協力をお願いいたします。

二〇〇〇年二月現在募金の総額は四七、〇〇〇円です。ご協力ありがとうございます。引き続き受付しておりますので何卒よろしくお願いいたします。

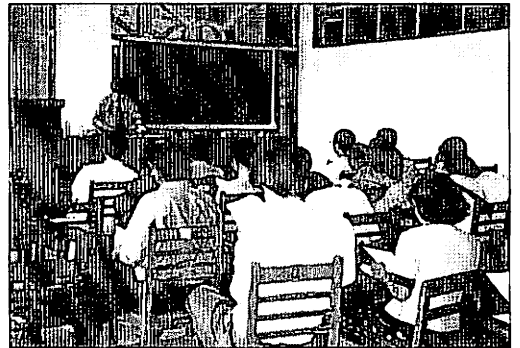
【募金方法】

郵便振込 番号:00520-4-23396
宛先: 歯科保健医療国際協力協議会
通信欄に「デンタルナース」と記入
一〇口1,000円より何口でも！
目標金額は30万円です
よろしくおねがいします！
ご意見・ご質問は…
Fax.:052-504-3718
E-mail:04135@nifty.ne.jp 柴田宛



◆はじめに
何事もはじめの一步を踏み出すのは難しい。しかし、いったん踏み出してみれば、次の一步は案外容易なものであり、その次、またその次とだんだん自然に歩き出し、走り出せるようになっていくものである。

◆ミャンマーにおける活動
私がミャンマーに携わってちょうど一年になる。この間、平成十一年五月と十二月の二回ほど現地へ赴き、また、五月のJAICOH総会や七月の福岡での国際シンポジウムでは、ポスター発表等の機会にも恵まれた。五月はスタディーツアーとして参加し、農村部や小学校での検診（写真1）、口腔保健センターの視察やART法の見学、さらには保健省、JICA、日本大使館、ヤンゴン歯科大学の訪問と様々な経験ができた。



農村部での検診風景

十二月は、七月に行われた口腔内調査の評価会への出席、ヤンゴン歯科大学の歯科器械の使用・保守整備状況の把握とそれに関する講義（写真2）、マンダレーにおける歯科医療状況の把握が主な目的であった。

◆なぜ国際医療活動なのか
五月・七月のポスター発表では、特に国際シンポジウムでの反響が大きく、歯科関係に限らず、この国に対する人々の興味と関心の高さがうかがえた。

◆なぜ国際医療活動なのか
これらを通じて、国際医療活動の困難さを痛感するとともに、大変魅力があり、やり甲斐のある分野であることも知った。教育制度や文化、

JAICOH NEWS LETTERは下記の名社のご協力を得て作成されております

スーパーボンドは、1982年に発売以来基本組成を全く変えておりません。

矯正に、補綴物の装填に
動揺歯の固定に
支台築造に、垂直破折歯の保存に
生活歯牙質切削面の保護に

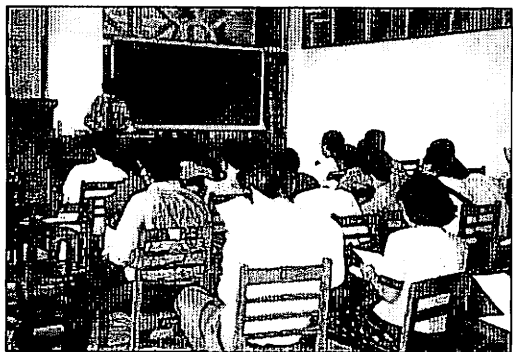
信頼と実績の
多目的歯科用接着材料

スーパーボンド

サンメディカル株式会社
フリーダイヤル: 0120-418-303
URL: <http://taihei.co.jp/sunomedical/>

JAICOHの活動にご協賛ご寄付下さった方々
(1999年12月~2000年3月)

(株)滝沢歯科機械店 / (株)永山 / (株)ジーシー / ローターイ
クラブ2600地区 / さかえ国際理解と交流の会(SIS) / 小川
光一 / 首村泰永 / 後藤忠正 / 野村昭子 / 田村六七夫 / 上平
晴 / 伊丹景子 / 新庄文明 / 宮武光吉 / 高橋強 / 塩田省三 / 藤
井祥子 / 黒田昌彦 / 大迫勝義 (有)チギラ企画 / 千木良直
行 / 海野町歯科診療所 / 村居正雄 (順不動・敬称略)



ヤンゴン歯科大学での講義

政治経済、生活習慣が異なる人々と接するのだから、日頃私たちが当然と思えることでも、彼らにとっては理解に苦しむことであつたりする。またその逆のこともある。

様々な取り組みの中で、彼らや彼らの国から数多くのことを教えてもらい、そして、学んだ。そのことが、今日の自分のものの見方や考え方、さらには、日々の診療姿勢に対して少なからぬ影響を与えたことは事実である。

このようなことは、なにも外国に出なければ得られないというわけではないが、国外に出てみることで、自らが、自己の存在や行動を再確認

することになり、日本の現状や自身自身について、より客観的に認識しやすいのではないかと思う。

私にとつては、それがたまたま縁あつて、ミヤンマーであつただけである。しかし、報告書の作成や学会での発表のために、いわば必要としておこなつた、この国に関する医療関係はもちろん、政治、経済、社会、宗教、語学などの勉強を通して、また、この国の人々と知り合い、その文化に触れ、お互いを認めあうことにより、国境を越えた心の触れ合いを体験し、だんだんこの国の魅力に惹かれていったような気がする。

ミヤンマーのプロジェクトが開始して約二年が経過し、JAICOHとしての支援はある程度の段階まで完了した。今後の方向性は再検討する余地があるかもしれない。

ただ、せっかく巡り会つた国なのだから、私自身としては、この関係を大切に、新たな視点に立つて、今度は自ら考えたプロジェクトを企画し、交渉し、実行できるように努力し、今後ともこの国とはつき合っていきたいと思つている。

◆最後に

自分自身の意志と実行力さえあれば、ひとりひとりの願望を可能にし

てくれる、JAICOHはそんなすばらしい機会と仲間を提供してくれる場なのである。

著者プロフィール

新潟大学歯学部歯科保存学第二講座

に在籍。専門は歯周病学。

Email: monose@dent.nigata-u.ac.jp

総会のご案内

一九九九年年度の総会の開催日程が二〇〇〇年六月十一日(日)に決まりました。

開催場所など詳しい事は四月十五日(土)に行われる役員会で協議します。開催候補地は今のところ、長野と東京が挙がっています。開催場所のご希望など、JAICOHネットあるいはFAXなどを活用してごしどしお寄せ下さい。

十年目を迎えたJAICOHが二十一世紀に向かってどのように活動をしていくかを決める大切な総会です。総会に参加することも、ボランティア活動の一つです。そしてまた、新しい出会い、懐かしい人との再会など人の輪が広がる良い機会です。そこからあなたのやりたいことが見つかるかもしれません。どうぞこのチャンスを見逃さず、是非ご出席下さい。

JAICOH NEWS LETTERは下記の名社のご協力を得て作成されております

NSK ナカニシの
ハンドピースは、
世界中の先生方に
愛用されています。

NSK 株式会社 ナカニシ
〒322-8666 栃木県鹿沼市上日向340

株式会社 松風

SHOFU

時代のニーズに応えるビデオ!

口腔介護の実践 (全3巻)

I. 訪問歯科診療
口から食へるための支援
口腔介護とリハビリテーション
(歯科医師向け/26分)

II. 歯科衛生士の訪問口腔ケア
要介護者のQOLの向上を目指して
(歯科衛生士向け/27分)

III. 介護者の口腔ケアのポイント
美味しく楽しく食べられるために
(介護者向け/25分)

在日口腔ケアの実際とそのポイントを基に構成されておりやすく解説。
★各巻定価15,760円(税込) ★3巻セット価格42,000円(税込)

Def 株式会社 デンタルライフモンド社
〒113-0022 東京都文京区湯島1-16-16 TEL: 03-3814-8137 FAX: 03-3814-9126